

保護者様

我孫子市立我孫子第四小学校
校長 佐藤 知以子

学校教育活動(教師・保護者・児童)アンケート集計結果について

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、本年度の学校評価(自己評価)及び保護者アンケート、児童学校生活アンケート集計がまとまりましたので、ご報告いたします。
今回の結果を真摯に受け止め、教職員一同、子供たちの一層の成長を願い、より良い教育活動に努めてまいります。今後とも、本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますよう、お願いいたします。

1. 集計数

	在籍数	集計数	回収率
児童	820	713	87.0%
保護者(家庭数)	665	430	64.7%
教職員	41	37	90.2%

※学校運営協議会委員の皆様の回答を含む

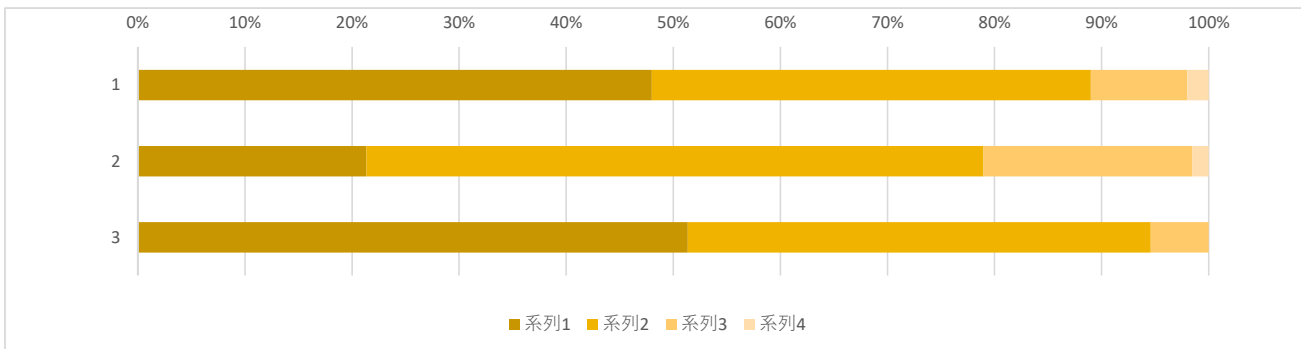
2. 集計内容

※表内の数字、及びグラフ表示は百分率(四捨五入して整数)で表示しています。

1-① 本校の学校教育目標は、「意欲を持ち自分を磨くたくましい子」です。お子様は、自分の目標をもって学校生活を過ごしていますか。〈保護者・教職員質問項目〉

- ・自分の目標をもって、学校生活を 過ごしていますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
児童	48%	41%	9%	2%	100%
保護者	21%	58%	20%	2%	100%
教職員	51%	43%	5%	0%	100%



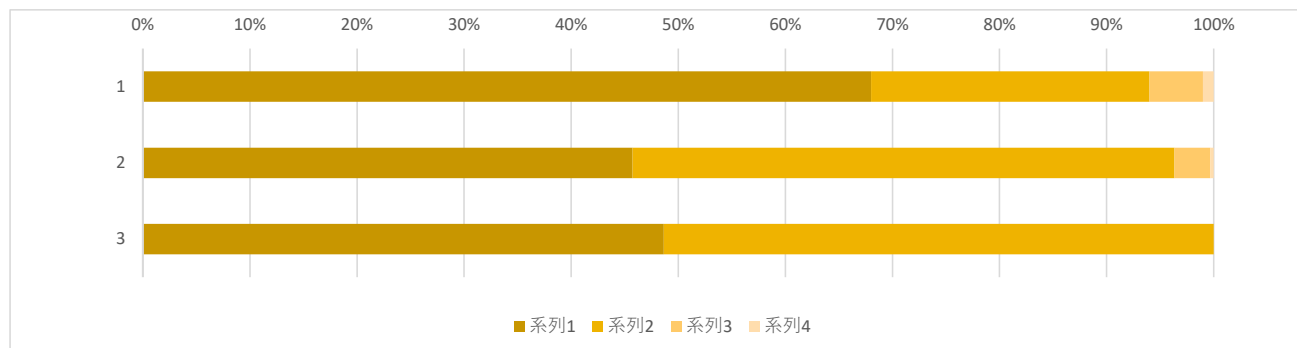
〈考 察〉

児童89%、保護者79%、教員94%が肯定的回答でした。
児童の肯定的回答が9割に近いことは、学校目標の具現化につながっていくこととして嬉しいことです。しかし、自分の目標をもって学校生活を送っていないと感じている保護者の皆様もいます。日々の生活や行事において役割を与えたり、目標を立てさせたりさせ、意欲をもって生活できるようにしていきます。また、自分の頑張り振り返る機会も作り、継続して目標をもてるようにしていきます。

1-② 四小の合言葉は「よく遊び、よく学び、みんななかよく」です。お子様は、日頃の遊びや学習を通して、楽しく学校生活を送っていると思いますか。〈保護者・教職員質問項目〉

・ 学習や遊びを通して、楽しく生活が できていると思いますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
児童	68%	26%	5%	1%	100%
保護者	46%	51%	3%	0%	100%
教職員	49%	51%	0%	0%	100%



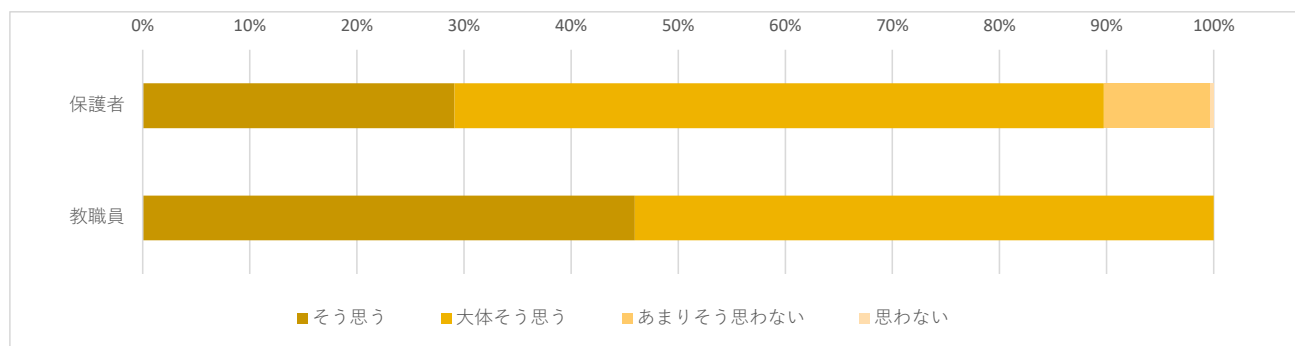
〈考 察〉

児童、保護者、教員ともに90%以上が肯定的回答でした。
特に児童は7割近くが「そう思う」と回答しています。多くの児童が安心して学校生活を送っていることがわかります。ただし、友達と仲良く過ごせていないと感じている児童もいるという事実を受け止め、よりよい人間関係を構築できるように丁寧に対応してまいります。

【基礎・基本的な知識・技能の定着】

2-①-a 学校は、児童の学習意欲を高め、確かな学力を身につけた子どもを育てる教育を行っていると思いますか。
 「5・6年生での教科担任制」、「3～6年生の専科授業」、「タブレットを活用した学習の推進」、「読書活動の推進」、「学びタイム」、「読書活動の推進」、「生活科・総合的な学習の時間の授業研究」等に取り組んでいます。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
保護者	29%	61%	10%	0%	100%
教職員	46%	54%	0%	0%	100%



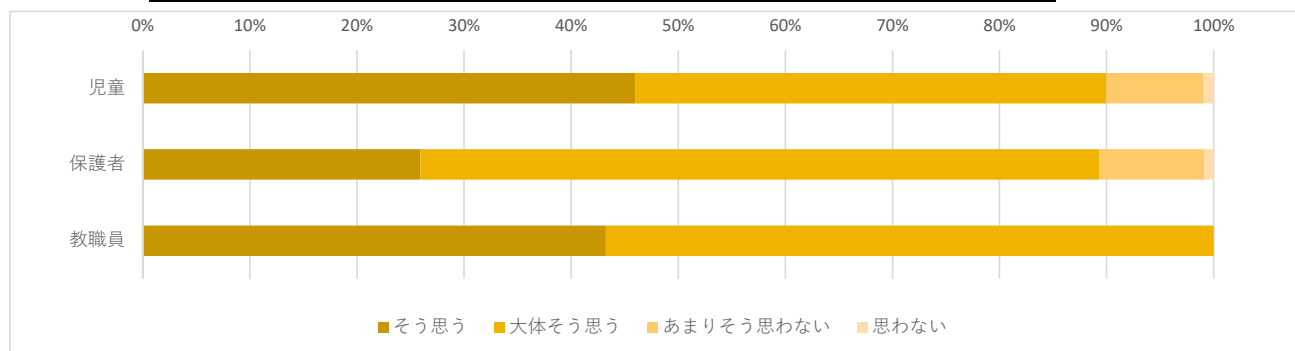
〈考 察〉

保護者は90%、教職員は100%が肯定的回答です。
 「教科担任制」、「専科授業」などの授業の工夫や、「タブレットを活用した学習の推進」、「読書活動の推進」による成果と考えています。また「生活科・総合的な学習の時間の授業研究」においては千葉県教育委員会にも認められ、教員の励みとなっています。これからも授業の充実を図っていきけるよう研修を積んでいきます。

2-①-b 【基礎・基本的な知識・技能の定着】

- ・ お子様は、学習した内容が身に付いていると思いますか。〈保護者・教職員質問項目〉
- ・ 学習した内容が 理解できていると 思いますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
児童	46%	44%	9%	1%	100%
保護者	26%	63%	10%	1%	100%
教職員	43%	57%	0%	0%	100%



〈考 察〉

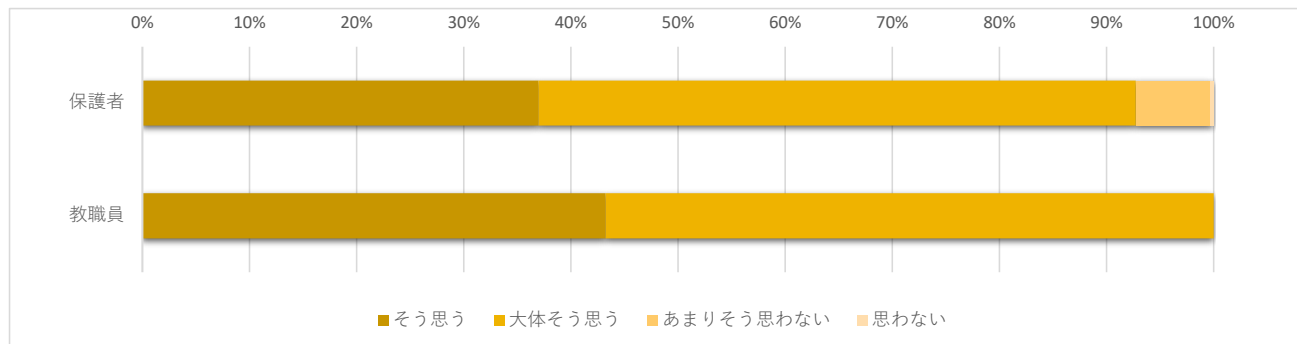
児童90%、保護者89%、教員100%が肯定的回答でした。
 児童の肯定的回答が9割を越えているのは、学校の授業の工夫だけでなく、ご家庭でのご支援があつてのことと考えています。一方で、学習が定着していないと感じている児童や保護者の皆様もいます。基礎基本の定着のために効果的にタブレット端末の活用したり、体験的な活動の充実を図ったりすることで児童が学習の定着を実感できるように指導していきます。

【健康な心とたくましい体の育成】

2-②-a 学校は、体力向上や望ましい生活習慣の定着、自信を持ち生き生きと生活する子どもを育てる教育を行っていると思いますか。

「体育の授業の充実」、「ロング昼休み」、「月例リレー」、「運動会・持久走大会」、「四小のきまり」、「歯磨き指導」等に取り組んでいます。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
保護者	37%	56%	7%	0%	100%
教職員	43%	57%	0%	0%	100%



〈考 察〉

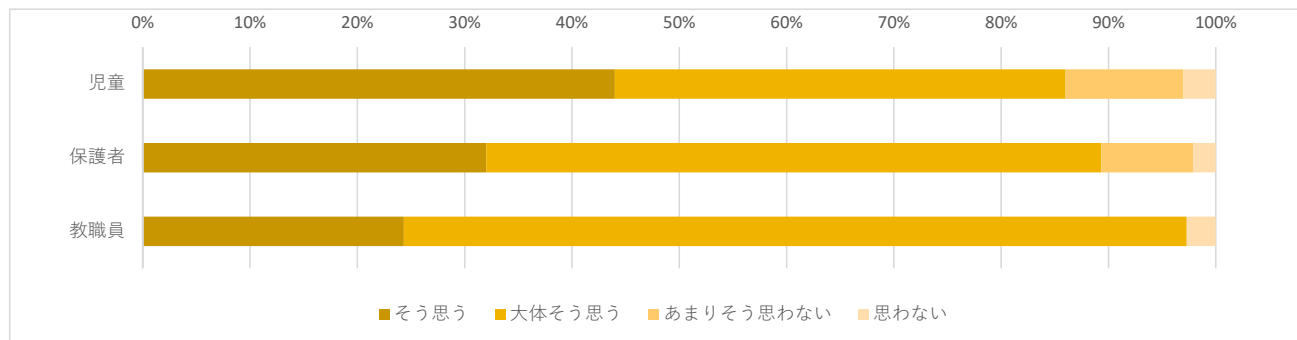
保護者93%、教職員100%と高い割合が肯定的回答でした。学校の健康な心とたくましい体の育成に向けた取り組みにご理解を得られているようです。特に体育的行事は、PTAのご協力もいただくことで安全に実施することができました。ロング昼休みや月例リレーでは、子供たちが中心となって企画・運営することで楽しみながら運動に親しむことができていると考えます。また、我孫子市教育委員会の講師による歯磨き指導や保健指導なども通して、これからも望ましい生活習慣の定着を図っていきます。

2-②-b 【健康な心とたくましい体の育成】

・ お子様は、規則正しい生活習慣が身についていると思いますか。〈保護者・教職員質問項目〉

・ 規則正しく生活できていると 思いますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
児童	44%	42%	11%	3%	100%
保護者	32%	57%	9%	2%	100%
教職員	24%	73%	0%	3%	100%



〈考 察〉

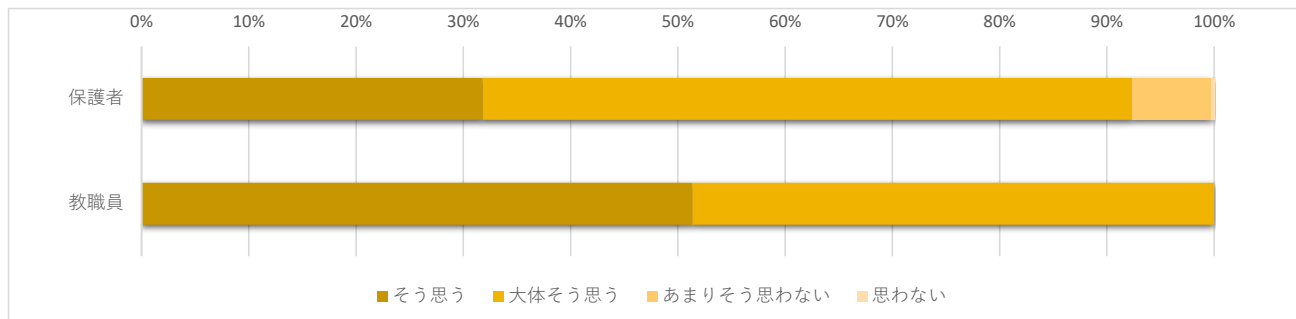
児童86%、保護者90%、教職員97%が肯定的回答でした。しかし、少ないながらも生活習慣が身につけていないと感じている児童や保護者の皆様もいます。学校で学んでいることが家庭で実践できていないことが考えられます。発達段階に応じた指導・支援を家庭と連携してまいります。

2-③-a 【相手を思いやる気持ちの育成】

学校は、一人一人の違いを認め合い、自他を大切に育てる子どもを育てる教育を行っていると思いますか。

「道徳の授業の充実」「いのち・こころ・からだの学習」「月例リレー（異学年交流）」等に取り組んでいます。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
保護者	32%	61%	7%	0%	101%
教職員	51%	49%	0%	0%	100%



〈考察〉

保護者93%、教職員は100%の肯定的な回答でした。

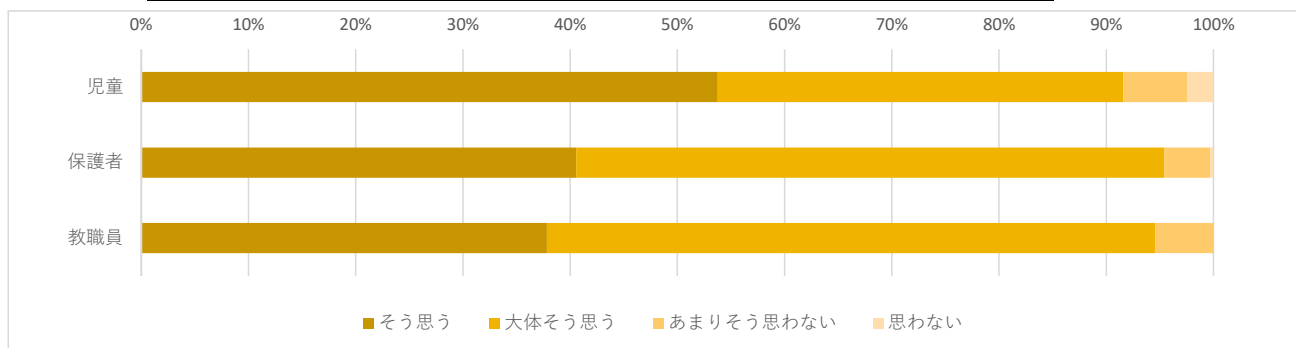
概ねご理解をいただいていると考えます。特に「いのち・こころ・からだの学習」では、各学年の発達段階に合わせた学習を行っています。自他を大切に育てる心を継続的に育てています。また、6年生を対象として助産師による「思春期講座」を実施しました。保護者の方にも参加いただき、子供たちの心や体について一緒に考える機会となっています。これからも様々な場面を通して、自他を大切に育てる子どもを育てる教育を推進していきます。

【相手を思いやる気持ちの育成】

2-③-b お子様は、他の人を思いやる気持ちが育っていると思いますか。〈保護者・教職員質問項目〉

- ・ 思いやりをもって生活できていると思いますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
児童	54%	38%	6%	2%	100%
保護者	41%	55%	4%	0%	100%
教職員	38%	57%	5%	0%	100%



〈考察〉

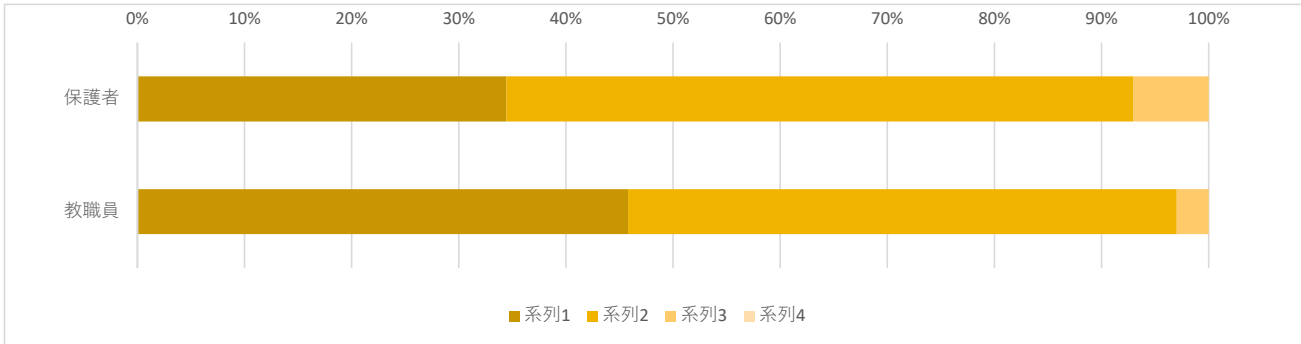
児童、保護者、教職員ともに肯定的回答が90%以上でした。

子供たちが一人一人の違いを認め合い、協力し合って学校生活を送ることができていると感じます。道徳の授業などでの学びと、日々の集団生活の中で体験する学びから自己を見つめ、必要な社会性を学んでいます。これからも保護者と協力しながら、子供たちの他者との関りを築いていけるよう指導していきます。

【自ら判断し身を守る力の育成】

2-④-a 学校は、自ら危険を判断し、防災・防犯の意識を育てる教育を行っていると思いますか。
「避難訓練（地震・火災・不審者）」、「登下校指導」、「全校朝礼での安全指導」等に取り組んでいます。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
保護者	34%	59%	7%	0%	100%
教職員	46%	51%	3%	0%	100%



〈考察〉

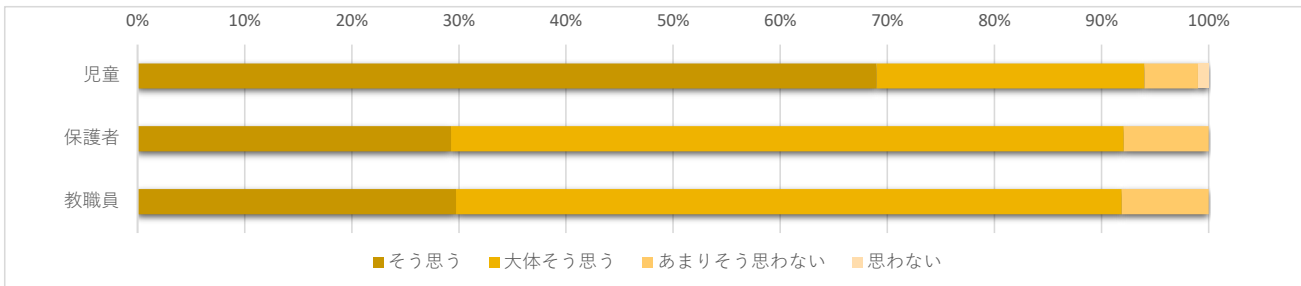
保護者、教職員ともに肯定的な回答が90%を上回りました。地震・火災・不審者など様々な場面を想定した避難訓練を実施し、防災・防犯意識の醸成を図っています。また、安全管理員による登下校の見守りを行っていますが、PTAの皆様にも見守りのご協力をいただいています。子供たちの安全を守っていけるよう学校・家庭・地域の連携を図ってまいります。

【自ら判断し身を守る力の育成】

2-④-b お子様は、安全に気をつけて（交通安全、避難の仕方など）生活していると思いますか。
〈保護者・教職員質問項目〉

- ・安全に気をつけて（交通安全、避難訓練など）生活できていると 思いますか。 〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
児童	69%	25%	5%	1%	100%
保護者	29%	63%	8%	0%	100%
教職員	30%	62%	8%	0%	100%



〈考察〉

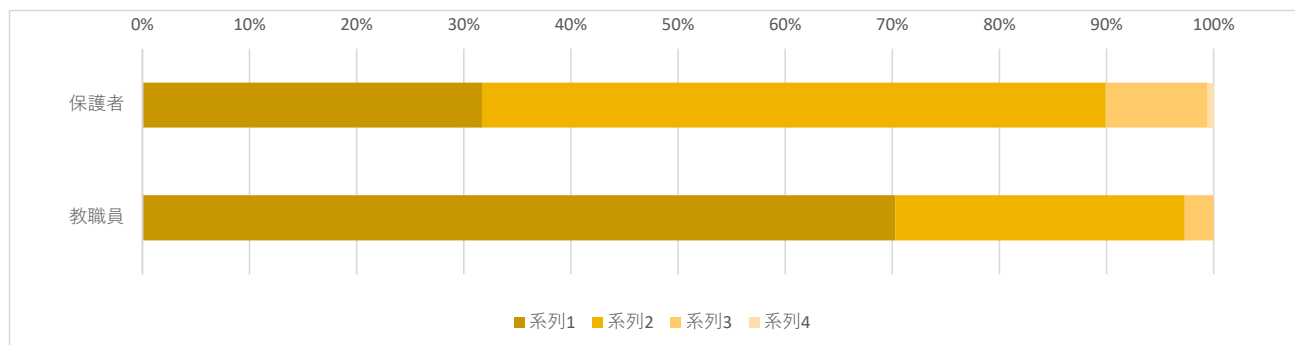
保護者、教職員、児童ともに肯定的な回答が90%を上回りました。実際に地震が発生した際には、机の下への一時避難をすばやく行うことができ、訓練を実践に活かすことができている。一方で、登下校中の転倒による軽微な怪我が多かった。落ち着いた行動が事故防止にもつながるということを指導していきます。引き続き、いざという時に行動ができるように自分の身は自分で守るという意識を育てていきます。

【教育相談・特別支援教育の充実】

2-⑤-a 学校は、子供たちや保護者の困り感に寄り添って相談を受けたり、個々の児童のニーズに応じた教育的支援に努めたりしていると思いますか。

- ・「教育相談月間の設定」「いじめや学校生活アンケート」「3～6年生のQ-Uアンケート」「個別の支援計画の作成」「関係機関との連携」等に取り組んでいます。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
保護者	32%	58%	9%	1%	100%
教職員	70%	27%	3%	0%	100%



〈考 察〉

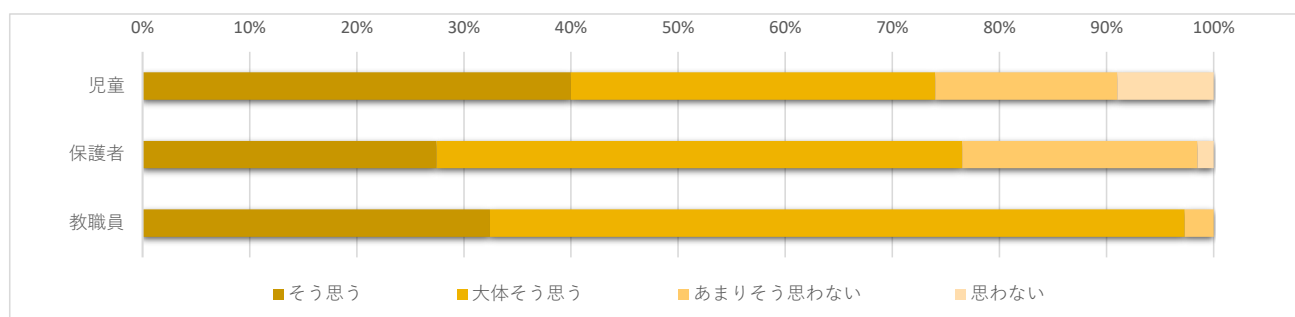
保護者、教職員ともに肯定的な回答が90%を上回りました。子供たち・保護者の悩みを日常的に相談を受けるとともに、相談月間やアンケートにより定期的な機会を設けて相談しやすい環境づくりに努めています。また、教育相談センターと連携しながら個々の児童のニーズに応じた教育的支援の充実をはかっています。どの子にも教育的支援は必要なものであるため、今後も特別支援教育について保護者への周知・理解が重要と考えています。

【教育相談・特別支援教育の充実】

2-⑤-b お子様は、けがや友達同士のトラブル、学習で困ったことを誰かに相談していると思いますか。〈保護者・教職員質問項目〉

- ・けがや友達のこと、学習で困ったことを誰かに相談していると思いますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
児童	40%	34%	17%	9%	100%
保護者	27%	49%	22%	2%	100%
教職員	32%	65%	3%	0%	100%



〈考 察〉

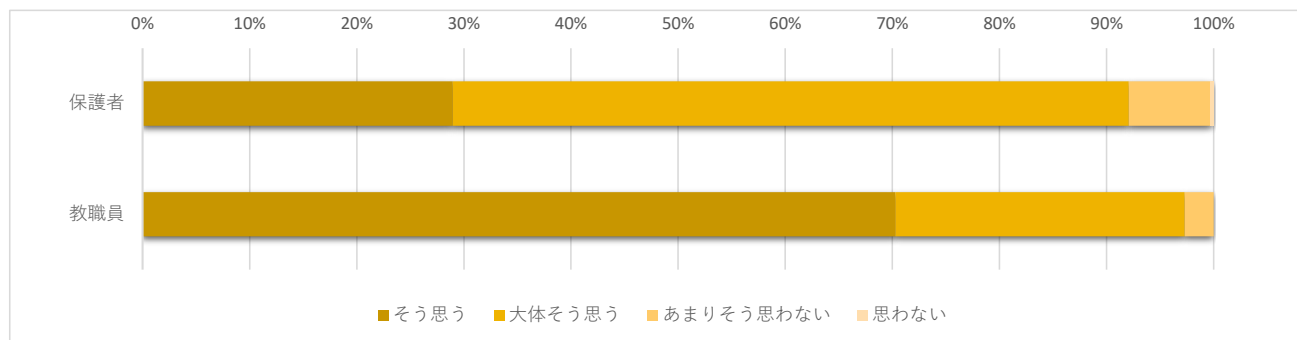
児童74%保護者76%の肯定的回答です。相談することがなく否定的な回答になった子がいる可能性もありますが、相談できていない子供たちもいると思われます。学校には、特別支援コーディネーターや教育相談の担当者が複数名おり、保護者からの相談を受けたり、関係機関を案内したりしています。また、心の相談員に加え、スクールカウンセラーも配置されており、支援体制を確立しています。今後より教育相談を活用していただけるよう周知してまいります。さらに、大人の誰かに悩みを相談できることが何よりも大切であり、学校だけでなく外部機関にも相談窓口があることを周知してまいります。

【PTA及び地域との連携】

2-⑥ 学校は、地域の人材を講師として活用したり、PTAと協力して行事や学校環境作りを進めたりするなど、家庭・地域と連携協力して教育活動を推進していますか。

「PTA運営委員会」「特別非常勤講師によるオオムラサキの命の学習」「地域学校協働活動による学習・環境整備ボランティア連携」「社会福祉協議会や民生委員・主任児童委員との連携」「船戸の森を守る会との連携」「大学生や高校生の学生ボランティア連携」等に取り組んでいます。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
保護者	29%	63%	8%	0%	100%
教職員	70%	27%	3%	0%	100%



〈考 察〉

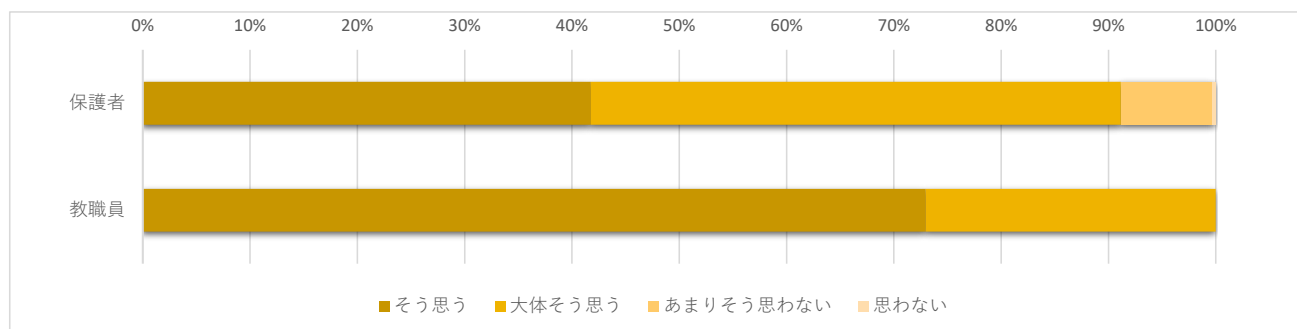
保護者、教職員ともに肯定的な回答が90%を上回りました。ミシン学習の補助、町探検などの引率、キャリア教育学習の講師などを依頼し、学校教育に多くの方々が関わっています。クラブ活動では、地域の方を講師に招いて専門的な知見を活かして活動の充実を図りました。さらに、地域学校協働活動推進員やPTA執行部の皆様が学校とボランティアをつなぐ役割となっています。今後も地域の学校として地域との連携を模索し、取り組んでまいります。

【教育活動の周知】

2-⑦ 学校は、教育活動の内容、生活の様子等について保護者や地域に知らせていると思いますか。

「学校だより」「食育だより」「保健だより」「4th（メール配信）」「ホームページ」等に取り組んでいます。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
保護者	42%	49%	9%	0%	100%
教職員	73%	27%	0%	0%	100%



〈考 察〉

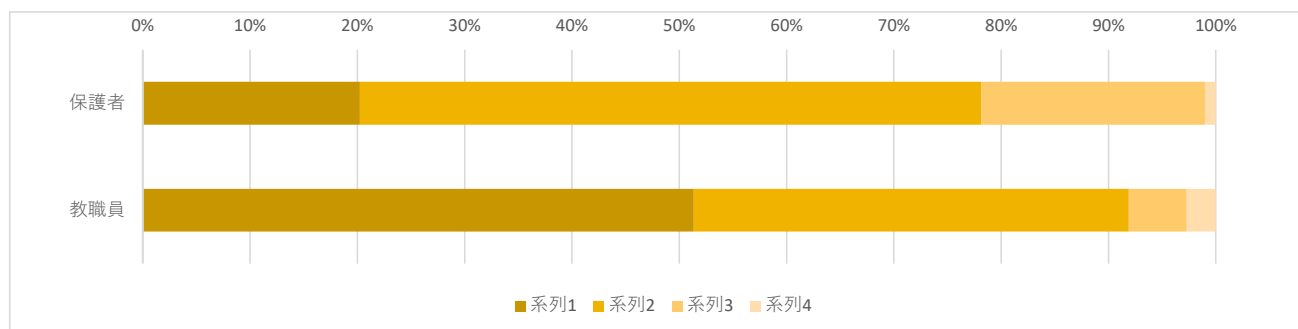
今年度は、欠席連絡・手紙配信のシステムが市内小中学校で更新され、新しくC4thへのご登録いただきありがとうございました。また、給食だよりのように普段から目にいただきたいものは手紙として配付しております。デジタルと併用しながら情報発信を行ってまいります。ホームページなども通して学校の教育活動をより理解いただけるよう努めてまいります。

【小中一貫教育の推進】

3-① 白山中学校区では、目指す15歳の子どもの像「共に支え合いたくましく生きようとする15歳」の育成に向けて、小中一貫教育の充実に努めていると思いますか。

- ・「グランドデザインの作成（HPに掲載）」、「児童生徒会の交流」、「小中一貫教育の日」、「白山中学校区3校合同職員研修」等に取り組んでいます。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
保護者	20%	58%	21%	1%	99%
教職員	51%	41%	5%	3%	100%



〈考 察〉

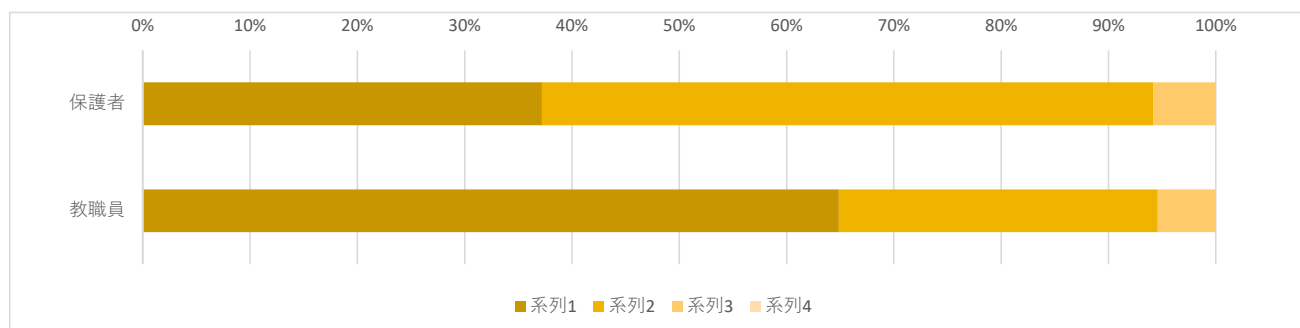
保護者は78%、教職員は92%が肯定的回答です。概ね理解は得られていますが、保護者と教員では、「そう思う」の回答結果に違いが大きく見られました。

今年度は三校合同研修会に、学校運営委員や地域学校協働活動推進員、民生委員児童委員の方々にも参加していただき、小中一貫教育の周知を図りました。その部分は保護者の目に見えてわかるものではないため、わかりにくい部分があるかと思います。今後は、取り組みの様子もホームページやC4thを通じて発信するなどして理解促進を図ります。

【小中一貫教育の推進】

3-②-a 白山中学校区では、郷土愛を育てるのために、ふるさと我孫子を愛し、誇りに思う子どもを育てる教育を行っていると思いますか。
1年生「船戸の森探検」、2年生「町探検」、3年生「我孫子市の学習」、4年生「わたしたちの我孫子を活用した市の水道やごみ処理の学習」、5・6年生「ふるさと我孫子の先人の学習」等に取り組んでいます。

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
保護者	37%	57%	6%	0%	100%
教職員	65%	30%	5%	0%	100%



〈考 察〉

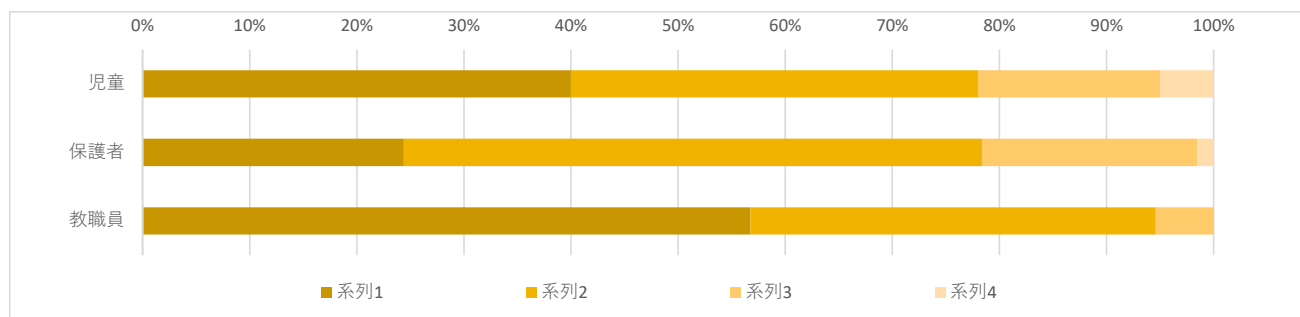
各学年で地域を活用しながら、体験的な学習の充実を図っています。また、我孫子第一小学校や白山中学校との交流を行い、ふるさと我孫子の一員としての意識を育てています。今後も、地域とのつながりを実感していけるよう学習を進めてまいります。

【小中一貫教育の推進】

3-②-b お子様は、地域や我孫子市に関心を持ち、地域との関りを持とうとしていると思いますか。〈保護者・教職員質問項目〉

- ・ ボランティアや 地域の人と 関ることが できたと思いますか。〈児童質問項目〉

	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	思わない	計
児童	40%	38%	17%	5%	100%
保護者	24%	54%	20%	2%	100%
教職員	57%	38%	5%	0%	100%



〈考 察〉

児童78%保護者78%に対して教職員95%と回答結果に違いが大きく見られました。学校の教育活動の中で、子供たちは多くの方々と関わっています。見守りなどの間接的な関り方もあれば、学習やクラブ活動などご指導をいただくような直接的な関り方もあります。学校の活動を通して地域と関っていく中で、感謝の気持ちを育てていくなど、地域の良さを実感させていきたいと思います。また、学校を離れたところでの地域との関りが少ないとも考えられます。お祭りに参加することでも、地域との関りと言えます。直接的な関りだけでなく、間接的な関り方でも地域の一人として関わっているのだという意識も育てていきたいと思っています。

その他

貴重なご意見、教職員への温かい励ましのメッセージありがとうございました。自由記述にてご意見いただいた内容も含めて、今後の方向性について以下の通り、報告いたします。

○PTA活動について

PTAについては、活動縮小への疑問、負担軽減の希望等のご意見をいただきました。PTA執行部と現在の四小の実態に合わせた持続可能な組織づくりを目指して検討を重ねているところです。引き続き、検討をすすめ、運営委員会だより等で、その内容を周知して参りたいと思います。

○部活動について

子供たちの成長へのお礼とともに、教職員への負担の心配のお言葉をいただきました。子供たちの成長の場として、教職員は熱意をもって取り組んでおります。一方で、部活動は本来の教育課程には位置づけられておらず、教職員の業務負担ともなっていることは間違いありません。

これまでも我孫子市教育委員会より示されているガイドラインに沿って実施していますが、近年の暑さによる活動が難しい夏場などに部活動を行わない期間を設ける季節制の導入や、保護者や地域のボランティア募集など、子供たちの活動の場の確保と教員の業務負担軽減とを踏まえて来年度以降の活動を検討していきます。

○行事における参観方法について

運動会、さわやかコンサート、持久走大会では、多くの保護者の皆様に参観・応援いただきました。その中で、参観方法についてのご意見をいただきました。参観については手紙による事前周知、PTAや学生ボランティアに依頼して当日の呼びかけ等を行いました。それにより、多くの保護者はルールを守って参観・応援をしていただいています。しかし、一部の保護者がマナーを守れていないというご指摘を受けました。

ご意見や反省を踏まえて検討しましたが、参観・応援ルールが定着してきたところであり来年度も今年度同様の方法で実施する予定です。教職員による声かけやルールの周知を行うとともに、保護者の皆様には改めて、子供たちが成長する場であることをご理解いただき、参観・応援していただけるようお願い致します。

この他にも、学習や安全に対するご意見や行事への要望等を頂きました。全教職員で共有し、今年度の反省とともに来年度の教育活動に活かしてまいります。また、学校からの連絡や学校の教育活動の様子は、C4thやホームページ等を通じて伝えてまいります。

最後に、「意欲を持ち自分を磨くたくましい子」の育成という学校教育目標のもと日々の教育活動に取り組んでいますが、PTA及び保護者・地域との連携、幼稚園・保育園・白山中学校区（白山中・我孫子第一小）との交流等、子供たちをとりまく多くの方々に取り組み、支えていただいたことに感謝いたします。学校運営においては、学校運営協議会委員のご助言、地域学校協働活動推進員のご支援に深く感謝いたします。